

## 04 子育て応援は職場から (女性)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、中上真亜子がお届けします。

10 働く女性の5割が出産・育児を機に退職すると言われてる中、福岡市で通信販売を行っている「株式会社すこやか工房」は、福岡市が推進する『ふくおか女性活躍NEXT企業』に認定され、従業員の仕事と子育てを応援しています。

15 この会社を設立した代表取締役の光本智恵子（みつもと・ちえこ）さんは、創業時から女性社員に支えられました。「女性は健康への意識が高く、細やかな感性があり、誠実な仕事ぶりの人が多いです。その特性が、接客や商品開発に発揮されています」と光本さんは話します。

20 しかし、子育て中の社員が仕事と家庭の両立をあきらめ、次々と退職することに危機感を覚えたそうです。そして、「働くお母さん」を大事にすることが会社の未来につながる と考え、子育てしながら働きやすい環境を整えました。

例えば、通常は、育児休業は子どもが1歳になるまで、短時間勤務制度は3歳になるまで、という期限があります。これを無期限に変更しました。また、出勤時刻や退社の時刻

25 も、保育園の送り迎えにあわせて、社員自ら決めることができるようにしました。

実際に、育児休業から復帰し、娘が7歳になる今も、短時間で勤務で働く女性社員はこう話します。

30 「娘が熱を出してもすぐ帰れるので助かります。こういう環境がなければ復帰は難しかったでしょう」

これらの制度を効果的に活用するため、この企業では、週に一度、全体朝礼と対話の時間を設けました。

35 朝礼では、全員が情報を共有し、仕事の内容と進捗状況を確認します。また、先輩が一对一で後輩の相談に乗り、アドバイスをしています。こうすることで、一部の人に仕事の負担がかからないよう補いあったり、効率的な仕事のやり方を教えてもらったりできるようになりました。

40 さらに、光本さんは「育児は女性の役割」という固定観念を変えたい」と、男性社員にも育児休業の取得を呼びかけます。

45 こうした取り組みにより、この企業では、子育てと仕事の両立がしやすくなりました。

制度が整っても、周囲の理解や協力がなければ、女性の負担は大きいままです。女性が社会で活躍できるようにするには、働きやすい勤務制度と、各々の意識の向上、その両方が必要ですね。